



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2017-2018年度 第7週報 No. 1990 2017年(平成29年) 8月25日 第1990回 例会記録 9月1日発行

本日〈9月1日〉のプログラム

- ◆ 齊 唱 「君が代」「奉仕の理想」「友達になろう」
- ◆ 献 立 夏野菜キーマカレー
- ◆ 卓 話 「人の人生に貢献できる
パーソナルトレーナーという職業」
パーソナルトレーナー 千葉 啓史 様
(紹介者 岡部雄一郎 会員)

＜＜本日のBGM＞＞
アルバム「THE BEST OF SCREEN MUSIC」より



PHOTO クラブ会報委員会

司 会 金森 欣一 副幹事

会長報告 矢野 修二 会長

- ・ 8月度定例理事会報告
- ・ R I事務局より、石川正三会員、吉田隆男会員、渡邊淳会員、田口健太郎会員に、MPHFの認証ピンが届いておりますので贈呈します。

点 鐘 矢野 修二 会長

齊 唱

「それでこそロータリー」「友達になろう」
ソングリーダー：加野 亮一 会員

四つのテスト 赤堀 和人 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)



ゲスト紹介 平林 尚子 様 (ゲストスピーカー)

2017-2018年度 R I会長 イアン H.S. ライズリー



ロータリー：
変化をもたらす

第2590地区 ガバナー 湯川 孝則

会 長	矢野 修二	会 計	白井 康夫
会長エレクト	天野 公史	副 会 計	飯田 泰之
副 会 長	田中 龍太郎	S A A	茂木 知子
副 会 長	河野 明光	副 S A A	加藤 仁昭
幹 事	白鳥 厚夫	副 S A A	森 永 健
副 幹 事	金森 欣一	クラブ会報	長井 章

例会日 毎週金曜日 0:30～1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

幹事報告

白鳥 厚夫 幹事

- ・会員名簿一式を作り直し致します。内容に修正のある方は事務局までご連絡お願い致します。
- ・地区RAC委員会よりアクトの日の案内が来ておりますので、回覧します。

委員会報告

職業奉仕委員会 委員長 赤堀 和人

すでに事務局より案内を発信しておりますが、10月4日(水)に優良職場訪問を実施致します。訪問先は総理(首相)官邸、国会議事堂、警察庁及び内閣府大臣室です。受付にて出欠を確認しておりますが、官邸への人数が40名に制限されておりますので定員になり次第締め切らせて頂きます。予めご了承のほどよろしくお願い致します。

出席報告

吉田 隆男 出席委員

会員総数	51名	(33+18)名	
出席会員数	40名	(26+14)名	
出席率	87.23%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	88.37%	前々回補正後	93.33%

スマイルボックス 森永 健 副SAA

矢野修二君 平林尚子様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話、よろしくお願い申し上げます。

吉田隆男君 山本先生、加藤さん、色々とお世話になりました。

月山 勇君 残暑見舞い申し上げます。それにしてもこの蒸し暑さには参ります・・・。ご自愛ください。

山本 登君 暑い中のゴルフ、大変でした。

加藤仁昭君 暑いですねー。

江森国一君 箱根でのゴルフ、猛暑でした。山本先生はじめ皆様、大変お世話になりました。

白鳥厚夫君 平林様、本日の卓話、楽しみにしています。

澁谷高弘君 山本先生、お世話になりました。

横溝 亘君 本日、所用により早退させていただきます。

古澤一憲君 平林様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

8月25日	10件	17,000円
本年度累計		259,500円



「警備業の現況と明日」

㈱神奈川警備保障 代表取締役 平林 尚子 様
(紹介者 古澤 一憲 会員)



1967年㈱神奈川警備保障は、神奈川県で最初の警備会社として誕生致しました。

主に製造業の施設警備、横浜市神奈川区、青葉区の公立小中学校の機械警備、JR東日本テロ警戒警備を請負い、約100名の警備隊員と共に犯罪抑止の安全産業を50年勤めて参りました。

警備業は1960年代東京オリンピックを皮切りに確立され、当時平和であった日本は「水と安全はタダ」と言う信念があり警備にお金をかける事がなかなか根付かなかったようです。のちにテレビドラマ「ザ・ガードマン」などの人気で注目を浴び、だんだんと認知されるようになりました。

横浜では2002年FIFAワールドカップで多くの警備員が街頭に立ち、警備の必要性をアピール致しました。

警備の仕事は警備業法によって業務別に4種類に分かれていて、その業務内でもさらに細かく分類されています。また、業務内容によっては各専門業務の「検定」を受けて合格した警備員が1人以上配置されていないと担当できないものもあります。

■警備業務の種類

<1号業務：施設警備>

事務所、住宅、興行場、駐車場、遊園地などの施設における盗難などの事故を警戒し、防止する業務です。日本における警備業務の需要の約50%を占めています。

- 施設警備業務
- 巡回警備業務
- 保安警備業務
- 空港保安警備業務
- 機械警備業務

<2号業務：雑踏警備>

人、もしくは車両の雑踏する場所、またはこれらの通行に危険のある場所における負傷などの事故の発生を警戒し、防止する業務です。安全なイベント開催や交通の安全に貢献します。

- 雑踏警備業務
- 交通誘導警備業務

ロータリー会長エレクトが逝去

米国時間の7月13日、国際ロータリー会長エレクトのサム F. オオリ氏が、予定通りに受けた手術後の合併症により、予期せぬかたちで逝去されました。オオリ氏は38年間、カンパラ・ロータリークラブ（ウガンダ）の会員でした。

昨年、会長に選出された際、オオリ氏は次のように語っていました。

「相互の責任とお互いを思いやる心という潜在的な価値観と中核的な信条を土台とするロータリーは、私の人生そのものとなりました。ロータリーを通じて誰かの生活をよりよくすることができ、大きな満足感を覚えます」

第108代ロータリー会長としてのオオリ氏の任期は、2018年7月1日に始まる予定でした。

「優秀で、非常に勤勉なロータリアンであったサムさんを忘れないでほしい」とイアン・ライズリー会長は話します。

「サムさんの逝去という悲報に接し、奥様のノラさんやご家族、世界中にいる何百万人ものサムさんの友人に祈りを捧げてください」

オオリ氏のリーダーシップにより、ウガンダでは29年間で、クラブ数が9から89にまで増えました。

ロータリー会員に「変化をもたらすための熱い情熱」を見出していたオオリ氏。その情熱と誇りを生かして、「すべてのプロジェクトを平和と繁栄の原動力とすること」を望んでいました。

オオリ氏は、2020年までにウガンダの法人ガバナンスの原則と慣習における卓越性を推進することを使命とした、「Institute of Corporate Governance of Uganda」の最高執行責任者を務めました。それ以前は、アフリカ開発銀行のディレクターやウガンダ商業銀行の執行ディレクター、ウガンダ開発銀行のディレクターを歴任されました。

また、ウガンダ中央銀行の法人担当秘書官も務めました。さらに、FAULU（現在は、Opportunity Bank）、The Uganda Heart Institute（ウガンダ心臓機構）、The Centre for African Family Studies（アフリカ家族研究センター）、ムラゴ病院、ムコノ神学大学、カンパラ市議会などのメンバーや委員長としても活躍されました。

最近では、ホスピス・アフリカ・ウガンダの副会長、PACE（アクセス可能な保健、コミュニケーション、教育プログラム）理事・委員長を務めていました。

ライズリー会長は、「サムさんは、多くの意味で特別な存在でした。このようなかたちで亡くなられたことは、ロータリー、サムさんの地元地域、世界にとって大きな損失」であると、「現在、サムさんの人生を称えるための計画を立てており、計画が固まり次第、発表いたします」と述べました。

ロータリーはオオリ氏を称え、記念基金を設立します。この詳細は追ってお知らせします。

友人や同僚に惜しまれながら、7月13日に手術後の合併症で急逝したサム F. オオリ会長エレクトを追悼する半旗が、現在、エバンストン（米国イリノイ州）にある国際ロータリー世界本部と世界各地のロータリー事務局に掲げられています。

「魅力的な笑顔とやさしい声で、話す相手をリラックスさせてくれる人」と話すのは、ガバ・ロータリークラブ（ウガンダ）会員で、オオリ夫妻の長年の親友であるヒルダ・タドリアさんです。

「“サム流スマイル”と呼んでいます。親しみやすく、話しかけやすいのは、あの笑顔があるからです。あの笑顔がもう見られないのは、ロータリーにとっても、友人たちにとっても、とても悲しいことです」

2018-19年度国際ロータリー会長として選ばれたオオリ氏は、アフリカ出身として史上2人目、ウガンダ出身としては初の会長となる予定でした。

1978年にカンパラ・ロータリークラブ（ウガンダ）入会。「どんな状況でも、常に陽気で、冗談を言い、みんなの気持ちを和ませてくれた」とタドリアさんは故人を偲びます。

オオリ氏の優しい人柄は、ノラ夫人に対する愛情と献身に表れています。故人は生前、トロロ（ウガンダ）の小学校で出会ったノラ夫人のことを「美しく、教養豊かで、個性的な人」と語っていました。「ノラ夫人を心から愛し、夫人第一でした」とタドリアさん。「二人は生涯の親友であり、パートナーでした。仲睦まじく、いつも寄り添っていました」

倫理を重んじる高潔な人格で、ウガンダの人びとから敬愛されていたオオリ氏。このような資質こそ、国際ロータリー会長にとって重要なのだと、タドリアさんは言います。「誰からも信頼されていました。話すことより、聞くことを好む人。ですから、大勢の人から愛されていました」

会長エレクトへの道

多くの会員と同じく、オオリ氏も友人からの粘り強い誘いがあってロータリーに入会しました。後年、彼は当時をこう振り返っています。

「行きたくありませんでしたし、関心もありませんでした。しかし、その友人を尊敬していたので、とりあえず行ってみることにしたのです。例会場に足を踏み入れた私は、ショックを受けました。そこにいたのは、私の知る人ばかりだったからです」

ロータリーの活動を目にするうちに、自身も情熱を注ぐようになりました。ウガンダでは、オオリ氏がガバナーを務めた1988年から、ロータリーが大きく飛躍。当時、ウガンダのクラブ数は9でしたが、現在は89クラブにまで成長しました。同国でのロータリーの大成長はオオリ氏のおかげであると考えられています。友人たちは彼の熱心さを「オオリ熱」と呼びましたが、それに対して自身は「これが“熱”なら、もっと多くの人に感染してほしい」と話していました。

自身を「救いようのない楽観主義者」と呼び、どんな相手でも良いところを見つけ、どんな状況でも明るい側面を見ることを選びました。穏やかで謙虚な物腰のオオリ氏は「笑顔のサム」として人びとの記憶に残るだろうと、イアン・ライズリー R I 会長は言います。

オオリ氏に指名されて会長エイドとなったジョン・スマージ氏は、故人のことをロータリーの「ロックスター」と呼びます。

「会長エレクトだったわずか2週間で、彼がいかに多くの人に愛されていたかがわかりました。ウガンダのロータリアンは、サムのことを国宝のように考えていました」とスマージ氏。

「自信を内に秘め、シンプルながら奥行きのある人でした」

ウガンダのコーポレートガバナンス・インスティテュートの CEO として、それ以前はアフリカ開発銀行での仕事を通じて、またロータリーでの活動を通じて、倫理の重要性を強調してきました。

14人兄弟姉妹とともに育ったオオリ氏は、自身の倫理観は生い立ちの中で養われたもので、特に、学校長と郡長だった父親の影響が大きいと語っていました。

「厳格な父でした。郡長となってからは、郡をまるで巨大な学校のように、物差しをもって管理していました。”何ごととも正しく行わなければならない”と強く言っていました」

オオリ氏がロータリーに入会した後、ウガンダは苦難の時代を迎えました。独裁者イディ・アミンは、ロータリーに疑いの目を向け、例会をひそかに監視するために部下を送り込んできました。

「時々例会にゲストがやって来ました。彼らがどこから来たのか、誰から招待されたのかよく分かりませんでした。いつも歓迎しました。何も隠すことはありませんでしたから」

ウガンダの優秀なロータリー会員たち（その中にはオオリ氏が勤めていた銀行のマネージャーも含まれていました）が、アミン率いる軍に街頭で殺されました。多くのロータリークラブが閉鎖され、会員の大半が退会しました。同国にかつて 220 人いたロータリー会員は、約 20 人にまで減りました。

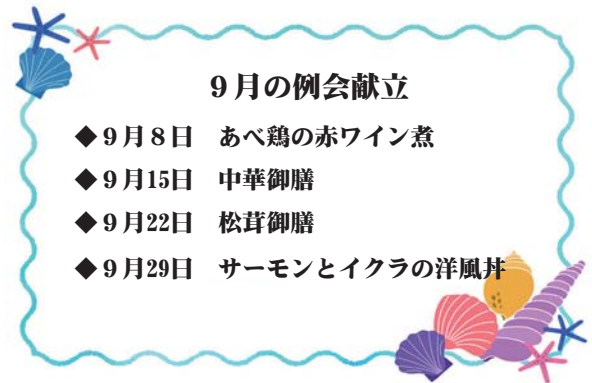
オオリ氏はかつてこう回顧しています。ある日、彼のクラブの目の前で 1 人の会員が連れ去られました。

「例会を終えたばかりの私たちは、ホテル入口の前に立っていました。その目の前で、仲間の一人が 2 人組の男にトラックに押し込まれ、連れ去られたのです。二度と彼に会うことはありませんでした」

しかしオオリ氏は、強い決意で翌週の例会にも出席しました。

学ぶ意欲が旺盛だったオオリ氏は、英国のレスター大学で労働法を、カリフォルニア・コースト大学とハーバード・ビジネススクールでは経営学を学びました。

ロータリーでは、R I 理事、ロータリー財団管理委員、ロータリー財団地域コーディネーター、R I 会員増強地域コーディネーター、国連環境プログラムと国連ハビタットへの R I 代表を歴任したほか、インターナショナル・ポリオプラス委員会、薬物乱用防止タスクフォース、監査委員会を含む数々の委員会の委員または委員長を務めました。また、ノラ夫人とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団遺贈友の会会員となりました。



9月の例会献立

- ◆9月8日 あべ鶏の赤ワイン煮
- ◆9月15日 中華御膳
- ◆9月22日 松茸御膳
- ◆9月29日 サーモンとイクラの洋風丼

我が街「神奈川」散策（第2回）

■長延寺跡

今週の表紙からは、「神奈川宿歴史の道」の史跡などを京浜急行・神奈川新町から台町に向かって順に紹介してまいります。

神奈川新町駅近くの、神奈川通東公園に長延寺跡があります。この辺りが江戸方面から神奈川宿への入口でした。長延寺は横浜開港当時、オランダ領事館に充てられました。長延寺は昭和四十年、国道拡幅に伴い緑区三保町に移転し、跡地が公園になりました。公園にはオランダ領事館跡を示す石碑があります。



次回〈9月8日〉の予定

テーマ 「神奈川の水道」

神奈川県内広域水道企業団技術部水運用センター 副所長
佐藤 亮 様
(紹介者 古澤 一憲 会員)